

令和7年度第3回
湘南西部地区保健医療福祉推進会議
審議（会議）記録

令和8年1月27日（火）
18：30～19：45
ウェブ会議

1 開会

<久保田会長>

久保田でございます。

それでは、さっそく議事を進めたいと思います。

本日の会議は、協議事項3件、報告事項1件となっておりますが、お手元の次第のとおり、本日はまず個別医療機関に関する協議事項1件を議題とし、その後、関係者の方に御出席いただいている報告事項1件、その後、協議事項2件の順で進めてまいりたいと思います。

なお、事務局におかれましては、議題の説明に当たり、簡潔かつ論点を明確にしてくださいませようよろしくお願いいたします。

2 協議事項

(1) 医療法第7条第3項の許可を要しない診療所について

<久保田会長>

それでは次第に沿って進めてまいりたいと思います。

はじめに会議の議事内容の公開・非公開についてお諮りしたいと思います。次第2の(1)、「医療法第7条第3項の許可を要しない診療所について」ですが、本件は、個別医療機関に関する事項となり、公開することで医療機関に不利益を及ぼすおそれがある情報を扱うことから、非公開の扱いとし、その他の議事は公開ということにしたいと思います。委員の皆様、御異議はございませんか。

(異議なし)

<久保田会長>

御異議がないということですので、そのようにさせていただきます。

3 報告事項

(1) 湘南大磯病院の運営状況について

<久保田会長>

それでは、報告事項に移ります。

次第3の(1)につきましては、令和4年度の当会議において、経過の御報告をお願いしたものでございますが、お手元の委員名簿の下段に記載のとおり、湘南大磯病院の権藤病院長、英(はなぶさ)事務長に御出席いただいております。

権藤病院長さん、英(はなぶさ)事務長さんにおかれましては、御多忙のところ御出席いただき、ありがとうございます。

それでは、次第の3「報告事項」の(1)、「湘南大磯病院の運営状況について」を議題といたします。

それでは、湘南大磯病院から御報告をお願いいたします。

(資料1により湘南大磯病院報告)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの御報告について、御意見、御質問等がございましたら、御発言をお願いいたします。

特に御意見、御質問はございませんか。

それでは、この報告事項は終了いたしますが、湘南大磯病院におかれましては、積極的に地域医療に御貢献いただいているものと受け止めております。引き続き、よろしくをお願いいたします。

なお、全病床稼働までの間、御報告いただくこととさせていただいておりますので、次回は来年度第1回の会議で御報告をお願いいたします。

権藤病院長さん、英（はなぶさ）事務長さんにおかれましては、本日は御出席いただき、誠にありがとうございました。

それでは、どうぞ御退席ください。

《湘南大磯病院関係者退室》

4 協議事項

(1) 新たな地域医療構想の策定に向けた検討について

<久保田会長>

それでは再び協議事項に移りたいと思います

次第の4の(1)、「新たな地域医療構想の策定に向けた検討」について、事務局から説明をお願いします。

(資料2に基づき事務局説明)

<久保田会長>

はい、ありがとうございました。

それでは、ただいまの事務局からの説明について、御意見、御質問等がございましたらお願いいたします。今回の協議は、事務局から説明がありましたように、まず構想区域の見直し、それから入院医療と外来・在宅医療、介護連携の一体的な検討に向けた委員の構成や協議の方法について協議をしたいということでございます。

まず、構想区域について協議したいと思いますが、これに関してはどうでしょうか。特に病院の先生に御意見をいただきたいと思いますが。平塚市民病院の中川委員、御意見いただけますか。

<中川委員>

はい、御指名ありがとうございます。湘南西部病院協会としての意見というふうにお聞きいただければと思います。というのは先週、同様の内容で、病院だけの、僕ら湘南西部病院協会ですが、検討を行いました。概ね、そこでの意見としては、病院として、この構想区域は比較的まとまりのある良い圏域ではないかというふうな意見が多かったです。一方で、圏域全体で見たときにはかなりいろんな点でバランスが取れ

ているようには見えるんですけど、例えば一つの指標として医師の数等を考える時に、ありがたいことに当医療圏には大学病院本院が一つあるんですね。市町単位で見ると、当然、大学病院本院がある伊勢原市は非常に医師の数が充足しているような数字に見えます。一方で、すぐお隣の秦野市となると、全くそうではない部分もありまして、医療圏としての数字がバランス取れているように見えても、その医療圏の中で、それぞれの市町がしっかり行政を単位としたような地域医療も果たしていくためには、地域の中で全病院で協力し合う、そういう体制が今後も求められるのではないかなというふうに考えております。実際のところ、やはり外来機能、在宅機能、介護との関わりを考えた時の構想区域ということになった場合には、またもう少し違う視点も必要なんだろうと思っておりますけど、そこら辺りは御参加の他の形態の医療機関の方々の御意見も参考にしながら、我々も考えていきたいというふうに思っています。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございます。特定機能病院の東海大学の渡辺委員いかがですか。大学病院から見て、この構想区域の状況をどのようにお考えでしょうか。

<渡辺委員>

構想区域に関しましては、中川委員がおっしゃったように、この湘南西部二次医療圏というところで現時点においては問題ないだろうと思います、先ほど8区域ということで、川崎の北部と南部の話は私たちにはわからないですけども、少なくとも湘南西部に関しましては、秦野と伊勢原の医者数の話もありましたけど、派遣していますので、全体とすると問題ないのではないかなと思っています。ただ、あくまでも次の話題になりますけれども、私たちが問題ないと言っているのは病床とか、そういった面でのことであって、今回の地域医療構想の中では、在宅と介護ということが非常に大きなウエイトを占めてくる。そうした時に私たち在宅と介護に関して、正直と情報がほとんどなくて、本当にそれを踏まえた時に、この構想区域でいいのかというところは、ちょっとクエスチョンの部分もありますけれども、現時点においては、今のこの構想区域の中で在宅介護を含めた情報を入れてどうしていくかということ議論していく、そういう形でいいのではないかな、と思っています。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございます。

それでは鶴巻温泉病院の出江委員、お願いできますか。

<出江委員>

鶴巻温泉病院の出江です。今の御意見と全く同じで構想区域自体については、この現状でよろしいのではないかと考えています。当院は慢性期の病院で、伊勢原市の病院、秦野市の急性期病院、それから平塚の急性期病院との連携がうまく取れていて、大磯町もそうですけれども、この区域の中で大変お世話になっておりますので、いい状態だと考えています。以上です。

<久保田会長>

はい、ありがとうございます。高根台病院の田邊委員はいかがですか。

<田邊委員>

先ほど平塚市民病院の中川先生、また東海大学の渡辺先生おっしゃったとおりだと思いますので、それ以上の意見はございません。以上です。

<久保田会長>

はい、ありがとうございます。

それでは県全体のところから見て、神奈川県医師会の小松理事、御意見いただけますか。お願いいたします。

<小松神奈川県医師会理事>（石井委員欠席のため代理出席）

医療という意味で言えば、従来通りの構想区域で議論していくのがベースになると思います。あとは先ほどから先生方の中でも話題が出ている在宅医療ですとか、医療介護連携とか地域包括ケアシステムとなった時は、その主体が市単位が多いので、そうすると少し組み合わせが変わってくる可能性があると思うんですよね。医療側だけでいうと、ここに参加していらっしゃる急性期の病院の先生方は運ばれてきた患者さんがものすごく増えてきた時にどうなってるんだっていうのがなかなか分かりにくいと。それをもう少し見える化していった方が、その地域の救急医療の負荷が下がる可能性があるっていうのが、新しい地域医療構想のヒントだと思っていますので、今までのように病院の先生方の意見だけではなくて、まずは行政が今地域でどういう課題を抱えていて、どういうことを問題として捉えているかということをどんどん言っていたらうえて、それを診療所も含めた医療機関側でどれくらい解決できるかっていう話をしていくのが今後の味噌かなと思います。現場の意見だけに偏りすぎてしまうと、医療も介護も、もう働く人が限られているので、もしかすると全部地域の希望に寄り添うってことは今後難しいので、そういう意味でも行政の方から地域の課題を色々と言っていて、こういう会議で共有していくと、特に急性期の先生方からすると、状況がデータも含めて把握をしやすいんじゃないかなというふうに思いました。以上です。

<久保田会長>

はい、ありがとうございます。

それでは同じく神奈川県医師会の磯崎委員、御意見いただけますか。よろしく願いします。

<磯崎委員>

在宅医療・介護連携というのは、実はこの二次医療圏でやるには、この二次医療圏の方が大きすぎてしまって、この中でやるのはなかなか実際問題、難しいと思っています。それで、各市町村レベルやさらにそれよりも小さくてもいいとは思っているん

ですが、そういうところで会議をやっていただいて、それを先導するのが、この二次医療圏でやる地域医療構想調整会議でいいのかなというふうに思っておりますので、こちらの会議で各市町に、どれくらいが多職種連携をやっているのか、またはやってもらって、その結果を上げてもらって、我々でそれを見た上で調整していくとか、そういったことが地域医療構想調整会議に求められるのかなというふうに思っております。構想区域に関してはこれまで通りでいいと思いますし、メンバーに関しても大幅に入れ替える必要はないのかなというふうには思っております。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございました。

構想区域に関しては他に御意見等ございますか。よろしいでしょうか。今日は決を採るわけではありませんので、意見を頂くということで、どしどし言っていただければよろしいかなと思います。よろしいですか。

それでは次に地域医療構想調整会議の構成委員や運営方法の見直しの検討についての協議に入りたいと思います。これに関してはどうでしょうか。鎌田委員、お願いいたします。

<鎌田委員>

先週、病院協会で同じスライドを拝見させていただいた時に感じたことですが、スライド 21 ページに記載のある「連携・協同」の部分で示されている行政が設置している会議体に関して、合同してやることを検討しなければいけないと思いますが、行政が主体になっている会議体なので、私たちは実態が全然わかりません。僕は介護保険の判定員もやっていて、多少介護の状況なども垣間みますが、だいたひ医療とはかけ離れている状況が見えてきますので、僕らもこの会議の中身が分からないと、これらと合同でと言われてもなかなか意見が述べられないので、この辺りどのような感じで理解を進めていけばいいのかなということを行政の方からも御意見とか御指導をいただければと思います。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございます。

今日は行政の方では欠席者が多くて、平等に意見が出るかどうか分かりませんが、前回行政の方から在宅医療と介護連携に関してかなりいろんな意見が出されたと思います。秦野市さんはいかがですか。

<渋谷秦野市参事兼健康づくり課長> (守屋委員欠席のため代理出席)

はい、行政の中でも私どもは医療の部門にいるのと、あと、在宅医療や介護連携の部分については、行政の中での縦割りの部分もありまして、できるだけそういった福祉の部門の会議には出席をして情報共有を図ったりということは努めてはいるんですけども、庁内の中での連携というのもまず必要なのかなというふうには感じております。

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは委員構成に関しては何か御発言ありますか。今現在、構成員としては、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院団体、看護協会、医療保険者、福祉団体、市町というような構成になっていますけれども、現状でいいか、また他の意見がございましたらということで、鶴巻温泉病院の出江委員お願いいたします。

<出江委員>

はい、どうもありがとうございます。私、東北大学の教授をやっていた時に、宮城県のリハビリテーション協議会と介護予防の委員会と2つ委員をやっております、そこでの経験で少し申し上げると、そこで議論になっていたのは、県での介護予防事業ですとか、それからリハビリテーション事業ですが、どれだけの資源を持っているのかというような話、リハビリテーションの資源とか介護の資源ですよね。そういう資源を皆さんで提示して、県の持っているリソースでどれだけ圏域全体、仙台市は入っていないんですけれども、仙台市以外の圏域をどうやって支えていくかと。で、学校の中にそういう作業療法士が入っていくとか、そんな話をしていました。メンバーについての意見ということじゃないんですけれども、できるだけいろんな職種が入ることが一つ大事ですが、先ほど鎌田先生がおっしゃっていたように、全然かけ離れているんですよね、言葉が。使っている言葉がかけ離れていて、あることを言っているけど違うことを意味していたりすることもあると思うので、メンバー構成と同時に、使ってる言葉がだいぶ違うという、文化の違いとか、そこを摺り合わせていくようなプロセスも入れ込んでおかないと会議だけやってもうまくいかないかもしれません。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございました。同感だと思います。

平塚共済病院の稲瀬委員、お願いいたします。

<稲瀬委員>

はい、平塚共済病院の稲瀬です。メンバーについては県からも御提案がありましたけれども、現在の委員構成の基本として、議題に応じてオブザーバーとか参考人を入れるのがいいんじゃないかなというのが私の意見なんですけど、介護に関しては、私も平塚市のいろんな委員会に入れていただいて見っていますが、やはり市町が基本的に色々丁寧にやっているところなので、今も委員として、それぞれの市町から入っていただいているんですが、介護の内容を十分に踏まえているような形で委員を出していただければ、それが実のある組織になるんじゃないかなと考えております。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございました。大変参考になる御意見だと思います。この会議はだいたい2時間という制限がございます。その中で議論をしていくためには、効率良い議論というのがやはりどうしても必要になってくると思うんですね。そういう観点から、

他の先生方から御意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

はい、大磯町の植地委員、お願いします。

<植地委員>

在宅医療と介護の連携なんですけれども、地域の医師会の先生方と御協力いただきまして、大磯町の場合、二宮町と連携をした形で、介護の部門と訪問看護ステーションの皆さんにも御協力をいただいて実施をしているというところなんです、その課題の中で、やはり退院連携のところという部分を随分と課題として長年取り組んでいるような状況がございますが、やはり隣接の平塚市民病院さんですとか共済病院さんとの連携の部分というところをしっかりと対応させていただきたいなという部分を感じてございますので、そういった部分では圏域ですとか委員の構成員を考えるとときには、今の圏域が良いのか、もう少し規模を落としてというところはありませんけれども、是非とも平塚市民病院さんですとか、共済病院さんと一緒にできるような形のところは対応としては考えていきたいなという希望はございます。以上です。

<久保田会長>

はい、ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。神奈川県医師会の磯崎委員、この件に関していかがですか。構成員や協議の方法に関して御発言いただけますか。

<磯崎委員>

はい、ありがとうございます。

同じことの繰り返しになって申し訳ないんですが、今やっている調整会議のメンバーは基本的にはこのままのメンバーで、先ほど県からプレゼンがあったように、時々、参考人と言いますか、そういう方を呼んでいただいて、現状をプレゼンしてもらうような形にして、今回、多職種連携、在宅医療、介護の連携というのも入っていますが、それが全てではないので、やはり基本的な枠組みはこのままやっただいて、その上で必要に応じてやる。それで、市町ですでにそういった協議体や会議体はもうあるところがほとんどだと思いますので、その進捗状況を報告していただくような形がいいのではないかなと思っています。それで、各市町から報告があった上で、例えばそれがすごく遅れているところとか進んでいるところがあれば、それは情報共有して県として調整をしていくというような形がいいかなと個人的には思っています。以上です。

<久保田会長>

ありがとうございます。

他にいかがでしょうか。小松理事、御発言いただけますか。

<小松神奈川県医師会理事>（石井委員欠席のため代理出席）

私も皆様方と同意見です。いろんな立場の方が、その立場としての御意見をいっぱいお話されるっていう会議が結構あります。ある程度は医療側でどこまで出来るかっ

という話を考えないと、どこでも結局、人が足りないとか、もっとこうなればいいのになっていう話をされますが、現実的にそれができるかできないかっていうことを踏まえたうえで、話をしないと何でもかんでも推進、推進っていうと、どこかに人が偏ってしまうということになるので、やはりこれから先はバランスですとか、あとはどうやってやりくりするかっていう、そういう視点の方が大事だと思うんですよね。今から新しいものを作るというよりは、今あるものをどうやって長持ちさせるかっていう時代になってきていると思うので、そういう視点で議論していく場所としては、ここにいるメンバーでやっていくことが私はよろしいんじゃないかなと思います。

<久保田会長>

はい、ありがとうございます。

では私の方からまとめさせていただきますけれども、現在、この調整会議は2時間という時間でまとめなければいけませんので、委員の構成としては今の現状でやりたいなと思っています。それから、協議の方法としては、個々の事例というのは、地域包括ケア会議や在宅医療推進協議会等でディスカッションされると思いますけれども、その中で調整会議で議題として上げて協議したいということがあれば、現職員またはその担当の方にオブザーバーという形で御意見をいただく、または協議していただくというのがよろしいかなというふうに思っています。私個人としてはそのように考えておりますけれども、他には何かございますか。今日は御意見を聞くという会でするので他に御意見があればお受けしたいと思いますがどうでしょうか。

いろいろ意見も出されましたので、以上の意見でよろしいでしょうか。

それではこの議題はこれで終了とさせていただきます。

(2) 紹介受診重点医療機関の公表について

<久保田会長>

次に次第4の(2)、「紹介受診重点医療機関の公表について」、事務局から説明をお願いします。

(資料3に基づき事務局説明)

<久保田会長>

ありがとうございました。

それでは、ただいまの事務局からの説明について、御意見・御質問がございましたら、御発言をお願いします。いかがでしょうか。小松先生どうぞ。

<小松神奈川県医師会理事> (石井委員欠席のため代理出席)

すいません。県の方に提案なんですけれども、一応、協議事項なのでさらっとやっていた方がいいかなと思いますけど、一方、当該区域にその対象の病院がない場合には、もうそこもさらっとやっちゃってよろしいんじゃないでしょうかね。要するに相模原とか横浜の病院がどうですっていう話題は資料としてあれば、御説明は不要で、公表は従来通りというのと、スケジュールはこんな感じでというぐらいでよ

ろしいかと思えます。

<久保田会長>

小松先生から御意見ということで承りたいと思えます。

他にはいかがですか。

それでは特に御意見がないようですので、本日予定された議題は以上で終了といたします。

5 その他

<久保田会長>

次第の5「その他」でございますが、委員の皆様、事務局から何かございますでしょうか。稲瀬委員お願いいたします。

<稲瀬委員>

平塚共済病院の稲瀬です。ひとつ御案内でございますが、湘南西部病院協会の行事として今頃の時期に年に1回の研修会をやっておりまして、来月2月20日の金曜日に当院で午後6時半から1時間ほどの予定で、今回御出席いただいている小松会病院名誉院長の小松先生に講師をお願いしまして、新しい地域医療構想について御講演をいただく予定になっておりますので、御興味のある方は是非とも御参加ください。問い合わせ先は当院の総務課になります。以上です。

<久保田会長>

はい、どうぞよろしくお願いいたします。他にはございませんか。

それでは本日の第3回会議をもちまして、令和7年度の湘南西部地区保健医療福祉推進会議は終了といたします。改めまして、委員の皆様、事務局の皆様に御礼申し上げます。それでは、進行を事務局にお戻しいたします。

6 閉会